

# 飯伊 産業経済動向

No.465 2017/12  
(30. 1. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp  
〒395-0044 飯田市本町1-2  
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

## 飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,536	枚	1.0	%	△	11.0 %
	金額	4,547,597	千円	4.7	%	△	3.3 %
うち不渡発生状況	枚数	0	枚	(前月 0 枚)		(前年同月 0 枚)	
	金額	0	千円	(前月 0 千円)		(前年同月 0 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	6	件	(前月 4 件)		(前年同月 5 件)	
	飯伊	0	件	(前月 0 件)		(前年同月 1 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(11月)		80	戸	27.0	%	60.0	%
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(11月)		1.74	倍	(前月 1.69 倍)		(前年同月 1.56 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,999	台	△	4.0 %	△	4.0 %
	中古車	593	台		12.5 %		6.3 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (11月)	新車	4,015	台		0.8 %		3.0 %
	中古車	908	台	△	2.0 %		17.3 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	112,073	台	△	8.4 %	△	0.8 %
	出	115,154	台	△	5.9 %	△	0.4 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	77,657	台	△	15.6 %	△	0.3 %
	出	77,972	台	△	14.9 %		0.6 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	12,093	台	△	26.6 %		0.1 %
	出	12,453	台	△	27.3 %	△	0.4 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	38,110	台	△	20.2 %	△	0.2 %
	出	38,051	台	△	20.4 %	△	2.7 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		186	件	31.0	%	△	9.7 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		0	件	(前月 7 件)		(前年同月 6 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	28,270	人	9.6	%		0.1 %
	飯田～名古屋	17,973	人	△	1.3 %	△	0.6 %
	飯田～長野	8,761	人	△	7.3 %		1.8 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,520	人	6.9	%	△	6.5 %
	右回り	3,592	人	8.6	%	△	7.2 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに行っています。



100%植物性インキ  
[リチウム]100% を使用しました。

再生紙を  
使用しています

# 概況

## 製造業

12月の製造業の業況判断指数(DI)は、プラス30.0で、前月から1.0ポイント下降。翌月予測もプラス40.6で、前月から0.8ポイント下降している。

電気、精密機械器具の販売は、前月比横ばい～やや増加。一部に前年比も増加との声が聞かれ、こうした業者では景況感も好転している。半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比やや増加。産業機器や医療機器向け部品の生産は、業者により増減まちまちも、横ばい～やや増加との声が多い。「一部に年度末に向けて生産調整があるが、中国市場向けが堅調に伸びている製品もあり、これらは今後もしばらくは好調。総じて高め安定」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者は多くはない。建築用金属製品の売上は、前月比やや増加、景況感も若干好転しているが、前年比はやや減少との声が寄せられた。自動車向け部品の販売は、前月比やや減少も、景況感が悪化した業者は見られない。小型電磁機器の販売は、前月比横ばい～やや増加。FA関連モーターの受注は、前月比概ね横ばい、前年比は増加、景況感も良好との声が寄せられた。光学機器の受注は、前月比、前年比とも増加、先行きも上向きとの声。電気、電子製品では、受注、販売とも前月比増加、景況感も良好との声が寄せられた。

## 地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比やや増加。前年比もやや増加した業者が見られたが、景況感の好転には至らないという。水引製品の販売の前月比は、やや減少との声が多い。前年比は増加との声が複数。漬物の販売は、前月比、前年比ともに減少との声が聞かれた。「野菜全般に高値で推移。野沢菜原料も量が例年の半分以下しかなく、各社売上を作れず苦戦している」という。

## 建設業

12月の建設業の景況DIは、マイナス8.3で、前月から3.5ポイント上昇。翌月予測DIも、0.0で、前月から5.9ポイント上昇している。

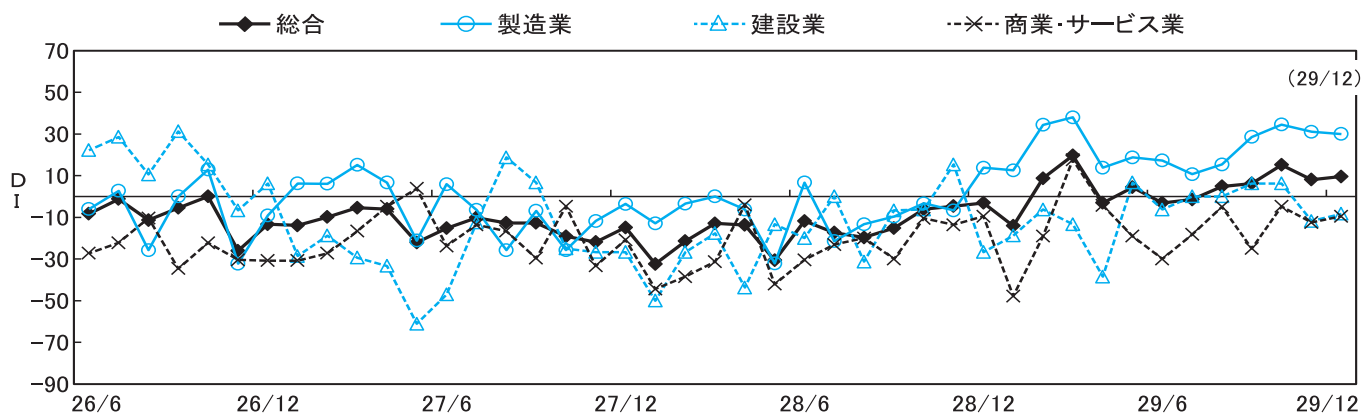
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約9.8億円で、前月比は54%減少、前年比も12%減少している(1月15日調査時点)。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、一部に増加との声も聞かれたが、やや減少～横ばいとの声が多い。前年比は、増加との声が複数。「結構仕事は出ている。年度末が近いからではないか」との声も聞かれた一方、「市町村の発注が少ない」などの声も聞かれ、景況感も悪化した業者も見られたが、大きな変動はないとの声が多い。

民需の住宅着工戸数(10月)の80戸。前月比27%増加、前年比も60%増加している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばいとの声が多い。「民間も工事は少ない」などの声も聞かれたが、景況感が悪化した業者は見られず、「当社の仕事量としては目一杯といった感」などの声も寄せられた。

## 商業・サービス業

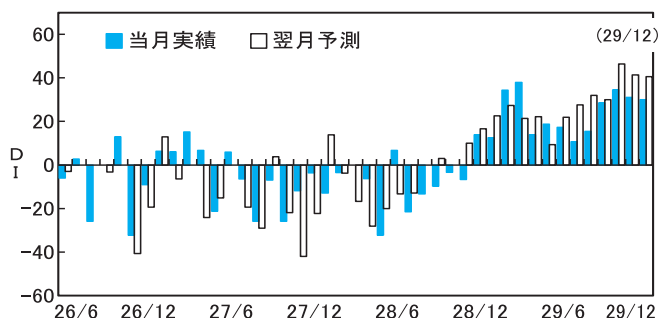
12月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス9.5と、前月より3.0ポイント上昇。翌月予測DIも、プラス15.0で、前月より15.0ポイント上昇している。食品品の売上の前月比は、一部に減少との声も聞かれたが、増加との声が多い。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比増加、景況感に変化は見られない。家事用品卸の売上は、「年末好天に恵まれた」こともあって、前月比、前年比共にやや増加、景況感も好転との声が寄せられた。電化製品の売上は、前月比はやや増加、前年比業者により増減まちまち。OA機器の売上は、前月比、前年比共に減少との声。衣料品の売上は、前月比、前年比共に横ばい～増加。「クリスマス商戦月」の娯楽用品の売上は、前月比増加も、前年比やや減少との声が寄せられた。土産物関連の売上は、前月比業者によりまちまち。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比、前年比共に4%減少。11月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比1%増加、前年比も3%増加。自動車販売、整備の売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加との声。市内料理店の売上は前月比、前年比ともに増加も、景況感に変化は見られない。昼神温泉の売上は、「全体としては静かに思える。土、日マイクロバスの動きも少ない」など前月比減少との声が聞かれた。天竜船下りの売上は、「紅葉も終わり、この時期は例年お客様が減少する」など前月比減少も、前年比はやや増加という。タクシーの売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加との声が寄せられた。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



## 地区内製造業の景況判断指数

### 飯伊地区景況DI（製造業）



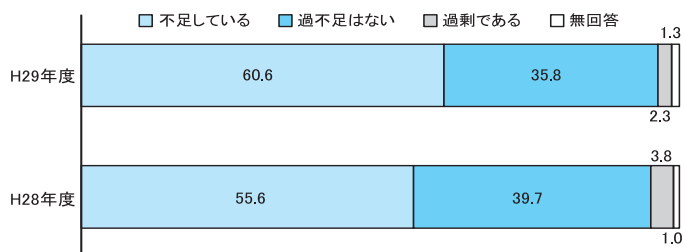
当月実績	30.0	(前月 31.0)
翌月予測	40.6	(前月 41.4)

当月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス30.0で、前月から1.0ポイント下降。翌月予測もプラス40.6で、前月から0.8ポイント下降している。

### 中小企業の人員の過不足状況

昨年7月の日本商工会議所による、「人手不足等への対応に関する調査」によると、中小企業の人員の過不足状況について、全体の6割以上の企業で「不足している」と回答しており、昨年度調査と比較して不足の割合が5ポイント上昇している。グラフにはないが、一昨年度は不足しているとする企業は50.3%で、ここ3年は年を追うごとに人手不足感が強まっている。

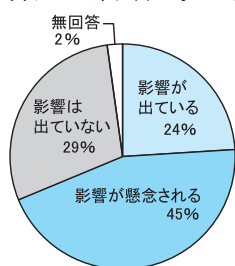
### 人員の過不足状況について



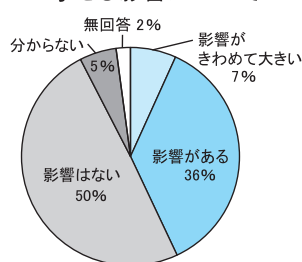
前の設問で「人員が不足している」とした企業に人員不足が経営に与える影響を聞いたところ、4社に1社が「すでに影響が出ている」としており、今後の懸念も含めると約7割となり、「引き続き注視が必要」としている。

ところで、「日本再興戦略」でも「働き過ぎ防止のための取組強化」が盛り込まれるなど、長時間労働対策の強化は喫緊の課題となっている。そこで、時間外労働の上限規制が与える影響について聞いたところ、「影響はない」とする回答が最も多かったが、運輸業、宿泊・飲食業、建設業などを中心に「影響が大きい」「影響がある」との回答も約4割あった。

### 人員不足が企業経営に与える影響



### 長時間労働の上限規制が与える影響について



## 機械加工製造業

電気、精密機械器具の販売は、前月比横ばい～やや増加。一部に前年比も増加との声が多く聞かれ、こうした業者では景況感も好転している。先行きは、生産の増加を見込む声が多い。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。人員の不足感を指摘する声は多い。設備面では、「LED照明」「機械複数台」など積極的な声が多かった。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比やや増加。前年比も増加との声が多い。受注面の前月比は業者により増減分かれ、やや減少との声も聞かれたが、「車載、AI、IoT関連の需要拡大」「スマホ、車載向け増産継続」「FPD関連良好」「客先から需要拡大につき2年後までのプランの提示あり」「半導体製造設備の状況は良い」「各情報でも引き続き好調の様子」などの声が多かった。景況感が悪化した業者は見られない。原材料、資材価格に関し、「アルミ厚板品薄」といった事情もあり、上昇基調にあるとの声は多い。雇用面では、「中途社員若干名面接中。新卒若干名、中途採用も募集」「若干名不足。補充を考える」などの声が多い。設備面でも積極的な声が多い。

産業機器や医療機器向け部品の生産は、業者により増減まちまちも、横ばい～やや増加との声が多い。「年末の駆け込み需要があった」「一部に年度末に向けて生産調整があるが、中国市場向けが堅調に伸びている製品もあり、これらは今後もしばらくは好調。総じて高め安定」「売上の前年比はやや低下しているが、これは前年が良かったため。前月比は増加」「客先が増産を表明。それに合わせ夏頃までに弊社も増産準備」「大物の動きが良くなった」「全般的に忙しい」「同業も皆忙しそうだ」「新規事業が軌道に乗ってきた」「景気上昇か？荷動きが活発になってきた」などの声のほか、納期に関しても「春頃納期の話が各社とも増えているのでは」「1か月先の注文が入るようになった」などの声が多かった。景況感が悪化した業者は多くはない。また、「納期の長いものが増えたが、これは購入品の入りが悪いという事情もある」「塗装屋さんを手一杯で納期が長くなった」「旋盤加工屋さんが減少していることもあって、各社単品の旋盤加工品の対応が厳しい」などの声も。

こうした中、雇用に関し「社外への発注の他、時差出勤、休日振替など、受注対応をこなすことが課題となりつつある」「不足。特に男性社員が厳しく、様々手立てを講じているが良い返事がない」「外国技術者、外国人研修生の採用で増員」「増員検討中」「やや厳しい」などの声。設備面でも、「予定あり。補助金の活用を検討中」「増産体制を整える」「計画中」「予定あり」「設備不足。導入検討中」など積極的な声が少ない。「アルミ、鉄、ステンレスのキロ単価が上がるとかなり厳しい」「アルミ原材料キロ当たり20円アップ」「鉄材もこれから」「ガソリン代、ガス代」など、原材料、資材価格の上昇を指摘する声は多い。

建築用金属製品の売上は、前月比やや増加、景況感も若干好転しているが、「例年、前月、今月がピーク月だが、今年は様子が違う。例年より悪い」など前年比はやや減少との声が寄せられた。「首都圏の工事は進んでいるものの、当社が関与する工種は夏場にピークを迎えそう」という。原材料、資材価格に関し「年明け以降益々上昇」との声が多かった。

自動車向け部品の販売は、前月比やや減少も、景況感が悪化した業者は見られない。前年比は業者により増減分かれる。「ハイブリッド車種の増加で、これに

関わる部品が好調」との声も。「アルミなどの有償支給材が高騰」など、原材料、資材価格が上昇基調にあるという。雇用面で「日本人の求職者が減っており、派遣会社も外国人に頼る傾向にある。最近では中国人よりベトナム人が多い」「人手不足が依然続く見込み。インフルエンザの流行による工数の不足も心配」などの声が聞かれた。

**小型電磁機器**の販売は、前月比横ばい～やや増加。前年比はやや減少との声が聞かれたが、こうした業者でも景況感は悪化しておらず、却って良好とする業者も見られた。先行きは、増加を見込む声は聞かれず、一部に弱含みとの声も。原材料、資材価格が上昇基調にあるとの声は多い。

**FA関連モーター**の受注は、前月比概ね横ばい、前年比は増加、景況感も良好との声が寄せられた。「産業機械向け増加、車載向けは横ばいで推移している」といい、先行きもこうした基調で推移すると見込まれている。

**光学機器**の受注は、前月比、前年比ともに増加、先行きも上向きとの声が聞かれた。原材料価格が上昇基調にあるという。雇用面で「不足気味。集める努力をしておき、何とか確保できそう」との声も。設備面で積極的な声がある。

**電気、電子製品**では、受注、販売とも前月比増加、景況感も良好との声が寄せられた。こうした業者では開発要員の不足が続いているといい、「外部委託を強化する」との声が聞かれた。

## 地場産業

**半生菓子、菓子原料等**の売上は、前月比やや増加との声が聞かれた。前年比についても、「コンビニ向けや通販向けが増加している」など、やや増加した業者が見られたが、景況感の好転には至らないという。輸送に関し、「運賃値上げ」「運賃、段ボールは値上げ見込み」など費用の増加を見込む声のほか、「年末、年始の運送で未着が発生した。運送業界の人手不足はそれだけ深刻ということか」といった声も。

**水引製品**の販売の前月比は、やや減少との声が多い。前年比は増加との声が複数。正月飾りの販売に関し、「11月納品の増加が見込まれたが、予定通り納品できた。金額としては大きいわけではないが追加注文も多く、一息ついた感。来年も追加注文に対処できる体制ができたと思う」「寒波の影響で、裏白、橙、みかん等を使う生ものの痛みが少なかった。生ものの製造業者が年々減少していて製造依頼が増えており、対策を施す必要がある」「一部の品で海外生産が間に合わず、お客さまに迷惑をかけてしまった。こうしたことを除けば例年通りの動きだったように感じる」「正月飾りを飾らない家が更に増えているようで気になる」「正月飾りの注文は遅く、納品は早まり製造は大変。また、大量の注文が来るが、大量の返品もある。こうした循環を無くす必要を感じる」「海外から来年の値上げの要望がある」「季節パートは安定確保できた」などの声が聞かれた。

**漬物**の販売は、前月比、前年比ともに減少との声が聞かれた。「野菜全般に高値で推移。野沢菜原料も量が例年の半分以下しかなく、各社売上を作れず苦戦している」という。雇用面で積極的な声が聞かれた。

## その他製造業

**食品関連包材**の生産は、前月比横ばい、先行きは弱含みとの声が聞かれた。原材料価格、製品価格に大きな動きは見込まれていないという。

**印刷、出版関連**の売上は、前月比やや増加も、前年比はやや減少との声が聞かれた。「年賀はがきの受注

は11、12月を通して昨年より大幅にダウン。時代の流れもあるが、大型店やコンビニの影響も大きい。来年の年賀葉書代も52円のままなのかどうか不安」「全般に印刷が減っているからか、地元業者間の価格競争に加え、他地域からの進出もある。官公庁のネット公募でも、エリアに関係なく広範囲に応募がある」などの声が聞かれ、景況感も悪化している。雇用面で、「求人中。しかし望む人材が少ない」との声も。

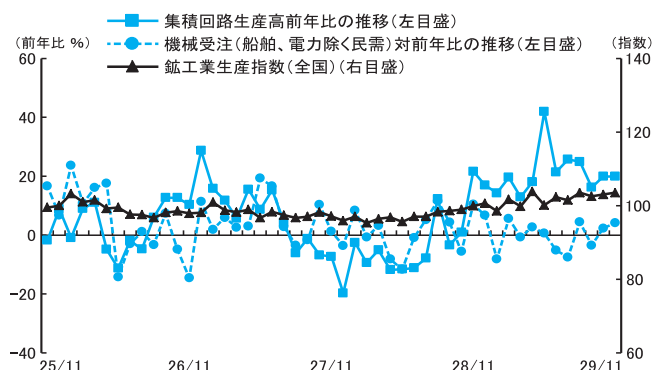
**衣料品**の受注は、前月比、前年比とも増加との声が聞かれた。「メンズパンツの形がツータックからシングル細身に移行し、合わせる上のももカジュアルが売れてきている。消費者がそろそろ買い替え時と思いはじめよう、消費が少し洋服に向いてきたように感じる。レディースも、カーディガン、ガウチョパンツに代わる新アイテムの登場を待ちたい」などの声が聞かれ、景況感も好転している。「ウール、ポリエステル関係の原料高の影響」で原材料価格が上昇傾向にあるという。雇用面の不足感が解消されたとの声も聞かれたが、「実習生制度の変更に伴い、労働集約型企業に集まる人がかなり減ることを懸念している」との声も。「同業者の廃業が相次いでおり、今後国内の縫製業が請け負えるか厳しい局面がありそう」との声が寄せられた。

**住宅機器、オフィス家具や店舗用什器など家具**の生産は、前月比やや減少も、前年比やや増加との声が寄せられた。「年末時点だが住宅向けで曇りの情報があった。一方、パブリック分野、店舗什器、オフィス関連は総じて堅調な様子」など、「全体的には上向きの情報が多い。こうした流れが春先だけで終わってしまうかどうか注目だが、期待の声も聞かれる」「11月までさほど仕事がなかったためにコスト安の仕事でも引張って、長期受注につなげたとの声もある。こうしたこともあるのか、どこも受注が一杯で、納期遅れが出そうな気配もある」などの声が聞かれた。原材料、資材価格や製品価格に関し、「値上げに対応しなければ資材供給を止めるとの話も出始めた。2月以降本格的に上昇してくるのでは。一方、製品価格の上昇には、繁忙期、期の切り替わりなどの理由が必要で、資材の値上げを加味してくれるのは4月以降になりそう」との声も。雇用面で「不足気味。休日出勤と残業でカバーしているが、来春の新規学卒者の入社まで中途採用を募集」との声が寄せられた。

### 【企業からのコメント】

- ★今年の干支は戌。「犬も歩けば棒に当たる」というが、良い棒に当たるようにしたい。
- ★県の女性の就業支援事業の一環で、4月に子供さんが入園、入学し、働きに出られる女性を対象とした「女性の限定面接会（合同会社説明会）」が、1月28日、かざこし子どもの森公園で行われ、弊社を含め飯伊の39社が参加した。

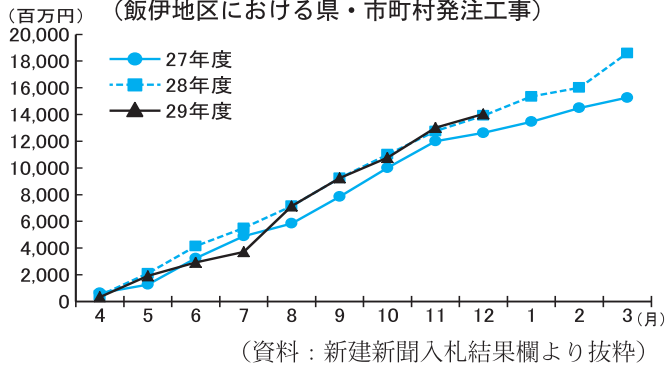
## 集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



# 建設業

## 入札額累計の推移

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -8.3 (前月 -11.8)

翌月予測DI 0.0 (前月 -5.9)

## 官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約9.8億円で、前月比は54%減少、前年比も12%減少している(1月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、一部に増加との声も聞かれたが、やや減少～横ばいとの声が多い。前年比は、増加との声も複数。「結構仕事は出ている。年度末が近いからではないか」との声が聞かれた一方、「市町村の発注が少ない」「三遠南信自動車道も前年並みの予算が付いているが、天龍橋、青崩トンネルなどの大型工事に費やされている部分が多く、地元業者の出る幕が少ない」「リニア関連もまだ動きがない」「公共事業の発注は例年通り低調。補正予算で増えていくことを望んでいる」「小規模工事のみ」「大型物件は減少している。公共土木のみに捉われず、小回りの利く体制を作って時代に合った方向性を決めたい」などの声が多い。景況感も一部に悪化した業者も見られたが、大きな変動はないとの声が多い。

複数の業者から完工高が前月に比べ増加したとの声も聞かれたが、「代金は進捗に応じた部分払いで、捗らなければ資金繰りが不安定」「工事の進捗に伴って借入金が増加傾向」などの声。

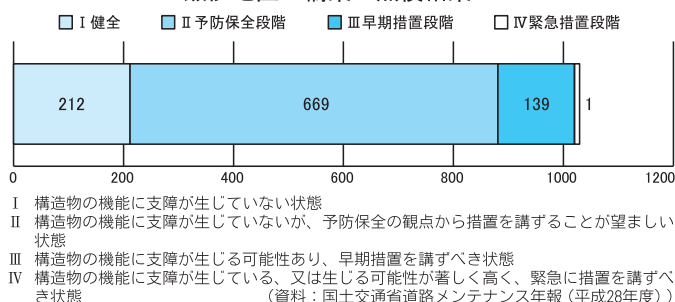
「燃料等」「石油製品」などが値上がりしているとの声も複数聞かれた。

雇用面では、「技術者、営業、経理の募集」「施工職員募集」などの声もあるが、現状維持との声が多い。とはいえ、「公共、民間とも仕事は少ないが、不思議と人手不足。地域の仕事が不足して、他地区で仕事をしている業者もあることの影響もあるのだろうか」など、全体としてみるとと工事量に見合う人手が不足しているとの声も聞かれた。

## 飯伊地区の橋梁の点検

インフラの老朽化が深刻な問題となる中、平成25年

### 飯伊地区の橋梁の点検結果



の道路法改正等を受け、平成26年7月より、道路管理者は、全ての橋梁、トンネル等について、5年に1度、近接目視で点検を行い、点検結果として、健全性を4段階に診断することとなった。平成29年3月31日現在、県内には国、高速道路会社、地方自治体が管理する橋梁は22,338あり、31%にあたる6,965で点検が実施されている。当地区では1,021の橋梁で点検が行われ、予防的な保全を含めた何らかの措置を講ずるべき状態にある橋梁が809、全体の79%を占めていた。

## 民需

当地区の11月の住宅着工戸数は80戸。前月比27%増加、前年比も60%増加している。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばいとの声が多い。「民間も工事は少ない」などの声も聞かれたが、景況感が悪化した業者は見られず、「当社の仕事量としては目一杯といった感」などの声も寄せられた。

こうした中、雇用面で「住宅部門で中途採用。新卒者も複数採用」「やや不足。求人対策を行う」などの声も聞かれた。

## 建設資材

鋼材の売上は、前月比概ね横ばい。前年比は増加も、これは「前年が悪かったため」で、「年末の駆け込み需要がさほどでもなく、月末もほとんど目立った動きはなかった。繁忙な製造業をはじめ他業種にも期待感はあるが、今一つ実需に結び付いていない。次月は定期的に売上が落ちる」など、景況感の好転には至っていないとの声も寄せられた。鋼材価格は、「流通筋が小刻みに値戻しをかけている。その動きが当分続き価格は上昇傾向」という。

生コンの売上は、前月比やや減少～概ね横ばい、前年比は増加。「主な出荷はリニア関連工事、三遠南信自動車道関連工事、砂防工事、保育園改築工事など。JR発注のリニア関連工事は前月より若干の減少」「天候にさほど影響されず堰堤工事が順調に打設でき、前月並みの出荷。河川改修工事の仕事も出てきて多少期待」などの声も聞かれた。

骨材等の売上は、前月比やや減少、前年比は増加。一部に景況感が悪化した業者も。「リニア関連は、県道松川インター～大鹿線が先行して動いているが、その他はこれから」との報が寄せられた。

### 【企業からのコメント】

★新年を迎え、少しでも活発化することを願うのみ。

★リニア関連の工事で、当地区の北部の業者は忙しくなってきたのでは。

### 住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

12月 ○飯田建設事務所分

新築 15件 (前年 10件)

増築 2件 (前年 5件)

○飯田市役所分

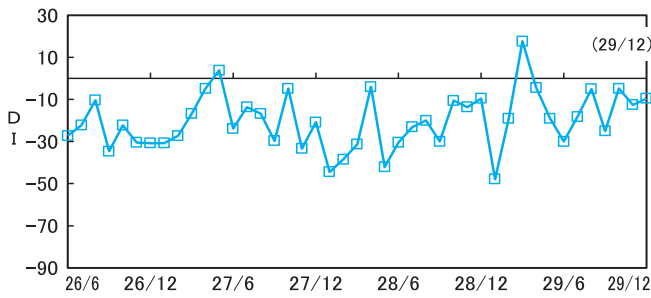
新築 13件 (前年 22件)

増築 1件 (前年 0件)

※指定確認検査機関分を含む

# 商業・サービス業

商業・サービス業DI



当月景況DI	-9.5	(先月 -12.5)
翌月予測DI	15.0	(先月 0.0)

## 商業

食品の売上の前月比は、一部に減少との声も聞かれたが、増加との声が多い。「ケーキなどで売上増」「クリスマスケーキは前年並み」「女性の雇用が進み、買い上げ頻度減少から来店客数は減少しているが、一方、まとめ買いが発生していて、買い上げ点数、一人当たりの客単価は上昇。売上高は微増」「同業も特別変わった様子はないが、チラシ投入が増加しつつある。来店客数減少に伴って売上が減少しているとの声もある」などの声。雇用面で、「中途採用増加」「4月に新卒者入社予定」「少し足りない。労働人口の減少を心配している」などの声聞かれた。

### 【青果卸売市場】

売上は、「季節要因」で前月比増加という。

野菜は、「12月も10月の大雨と、このところの異常な低温の為、生育作柄が非常に悪く、露地物のレタス・ほうれん草・キャベツ・大根等が4割から10割高と近年にない高値が続いている。1月もこの傾向は続きそう」との声。

果実は、「みかんは裏年にあたり3～4割の収穫減により大玉傾向。干し柿も長雨により収穫が3～4割減と主力商品が品薄により高値の傾向。苺も天候は良かったものの低温による生育遅れから入荷量減となった。ふじりんごについては、品質が悪い物が多く価格で4割ほど昨年比に比べ安値であった。」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比増加、景況感に変化は見られない。

家事用品卸の売上は、「年末好天に恵まれた」こともあって、前月比、前年比共にやや増加、景況感も好転との声聞かれた。「紙類、家庭用品の売上が増加。ただ、紙類は特価品が多く、出荷は多いが利幅は薄い」「正月用品は、以前必ず使ってくれていたが、徐々に少なくなってきた。地場の風習が廃れてきた感」などの声。

電化製品の売上は、前月比はやや増加、前年比業者により増減まちまち。「設備工事を伴うエアコン、ファンヒーター等の季節商品の販売好調により売上は増加。来月も冷え込む予想で、継続的な季節商品の売上に期待している」「飯田下伊那より上伊那の物件が目立つ」「歳末の売り出しで冷蔵庫、エアコンが出た」などの声聞かれた。

OA機器の売上は、前月比、前年比共に減少。「事務機全般に厳しいがインテリア部分は多少上向きの様子」「年度末の需要期に向けて見積もり作業や提案業務が増加。ここでしっかりと動いておく事で今年度の方向性が決まる」「消費税軽減税率に対応するレジの入れ替えを取り込みたい」「年度末に向けて1月はやや厳しいと思う」などの声聞かれた。

衣料品の売上は、前月比、前年比共に横ばい～増加。「製造、木工系業者からの受注がやや改善傾向」「買い控えや購入単価が減少している」などの声聞かれた。「クリスマス商戦月」の娯楽用品の売上は、前月比

増加も、前年比やや減少との声聞かれた。

土産物関連の売上は、前月比業者によりまちまち。「売店、レストランの売上が伸びない。今後の売上低下も懸念され、対応策に苦慮している」などの声聞かれた。

松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比、前年比共に4%減少。中古車は、前月比13%増加、前年比も6%増加した。11月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比1%増加、前年比も3%増加。中古車は、前月比2%減少も、前年比は17%増加した。

自動車販売、整備の売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加との声。仕入、販売単価について「12月は廃車同然の中古車の入荷もあり1台当たりの単価が下がった」という。「年初は中古車が動く」など今後の売上増加が見込まれている。

## サービス業

市内料理店の売上は前月比、前年比ともに増加も、景況感に変化は見られない。「景気は変わらないと思う」「ありがたいことに常連様の宴会が多かった」「年末の注文は多かったが、単価が低い」「忘年会が多かったので新年会が少ないかもしれない」などの声。仕入単価が「かなり上昇している」という。

昼神温泉の売上は、前月比減少との声聞かれた。「全体としては静かに思える。土、日マイクロバスの動きも少ない」「例年当月は売上が落ちる。地元のお客さまや忘年会のお客さまに利用していただかないと売上に繋がらないが、宴会、宿泊共に減少、売店も動かない」「お酒等飲物も飲まれない方が多い」「冬期企画のウインターナイトツアーによる誘客効果が薄い」「客層の変化が表に出つつあるが、若い方は土産、飲食にはあまり興味がない」などの声聞かれた。

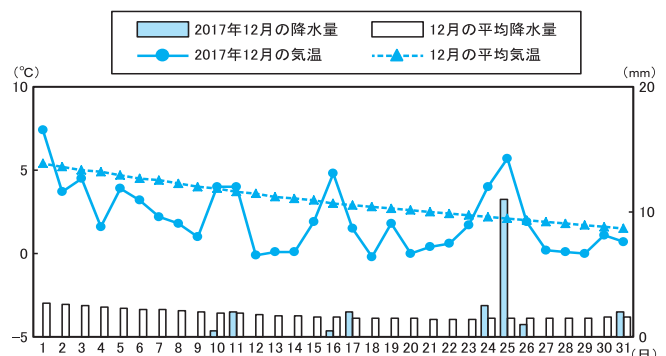
天竜船下りの売上は、「紅葉も終わり、この時期は例年お客様が減少する」など前月比減少も、前年比はやや増加という。

タクシーの売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加。「繁忙期の需要が週末の金・土曜日に集中し平日の需要が思ったほど伸びなかった」「冷え込みは厳しかったものの、雪による道路環境の悪化もなく需要が伸びなかった」などの声聞かれた。「地域の中で、業務の統合がスタートし、いよいよ再編が始まる。各社とも労働力の確保が非常に重要な問題」との声聞かれた。

### 【企業からのコメント】

- ★同業他社の動向はよくわからないが、ただただ努力するのみ。
- ★賞与等も昨年より多く出したので、なかなか厳しいです。
- ★同業で廃業があった。同様の売上規模で経営している業者は沢山あるのに、放置していたのかと思うと至極残念。

飯田の気温と降水量



## 流れ雲の目(21) 色の白いは七難隠す

飯田信用金庫 地域サポート部  
専門アドバイザー 小泉 敏郎

昔の諺に 色の白いは七難隠す というのがある。ここでいう色白は美人を表すのであろう、昔は美人の最大の条件は色白だったようである。現在も色白は当然好まれるが、逆に真っ黒に日焼けしたガングロというのも若者には人気があるようだ。

七難とはどのようなことを指しているのか？ 辞書で調べてみると下記の如く出ている。

七難とは仏教用語であり法華経では次の七つの災難を言う。

火難、水難、羅刹難、刀杖難、鬼難、枷鎖難、怨賊難を表している。

色の白いは七難隠す の解説には、仏教用語の七難が転じて、次のような難を隠すと書いてある。

一難 顔立ちの不味さ

顔の不細工な部分や、目や口などの部分的な不出来を色の白さで隠す。

第一印象の顔の作りよりも白さの方が目立つ。

二難 性格のキツサ

結婚衣装が純白であるように、純粹無垢な印象がある白さを強調することにより、攻撃性や気難しさを隠してくれる。

三難 生活の乱れ

着る物やハンカチ等で白は清潔感を強調できる、肌が白いと誰もが規律ある生活を送っているように見えるものだ。

四難 老いの恐怖

老化した肌の大敵はくすみ、白は明るく他の闇を隠す。色白は顔全体を若々しく見せる。

五難 運の悪さ

紅白はお祝いの色、白星は勝利の色と白は縁起色であり、肌が白いとそれだけで運が良いと思われる。

六難 色気なさ

白い肌の場合、肌を十分に手入れしている雰囲気が伝わる、肌が白いと顔は繊細で女らしいとの印象があり色気を強調する。

七難 みすぼらしさ

日本では昔から神様が白い動物に変身する話が多い、巫女も神様の衣も大抵は白。白という色は高貴な色でそれだけで神々しく見える、肌も白いと品良く見える。

私なりにこの諺を解釈すると、何か特定の長所、特徴を持っていると他の短所や欠点を覆い隠してしまうということではないだろうか。

人間個人でも、企業でもそれぞれ長所や短所、強みや弱みを多く抱えているはずである。

弱みを無くすことや、改善する困難度と比べて、強みを更に高める方が易しく効率的である。このことは世間でも有識者がよく言うことである。

先日あるテレビで見た中小企業の社長の談話を紹介します。

「我々みたいな中小企業では資金力や人的パワーも少ないのですから、あれもこれも改善、改革などできる訳がありません。しかし、永年培ったノウハウ、それで今の経営があるわけなので、この強み、自社の特徴を明確に分析し、更に高め広く横展開することが、今後生き残る、勝ち残る上で最大の効果を生むのです」

貴方の会社にも当然ですが強みとか弱みがあるはずですが、自社の強みは何でしょうか。把握出来ていますか。何年いや何十年と継続してきた企業にはそれなりの存続理由が必ずあるはずですが。それにも増して課題や問題点も多々あることとは思いますが、存続してきたこと その事自体が強みであり特徴ではないでしょうか。

企業存続には、社長の努力も然ることながら、客先、仕入先、従業員と企業を取り巻く関係者との連携が無くてはありえません。自社で自社の特徴が見つからないのであれば、客先や仕入先に確認するのも一つの方法でしょう、ここまで存続してきたのですから必ず特徴はあるはずですが、存続理由はあるに違いありません。

弱みを克服する、改善することは、最重要課題であることには間違いありませんが、そう簡単に永年染み付いた習慣や行動、技術、品質などが改善できるとは思われません。

自社の強み、特徴を明確に認識し、それを更に高め強固なものにすることが自社の今後の発展に大きく寄与するのではないのでしょうか。弱みを克服する努力、時間に比べ、強みを更に高める方が精神的にも前向きであり、全社員も参加もしやすく、効率が上がり効果も期待できると思います。

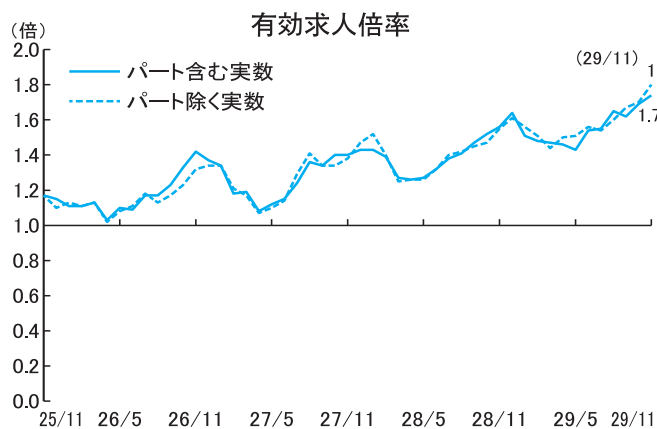
貴方の会社の色白は何でしょうか、その色白の白さに更に磨きをかけ光り輝く純白にしようではありませんか。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

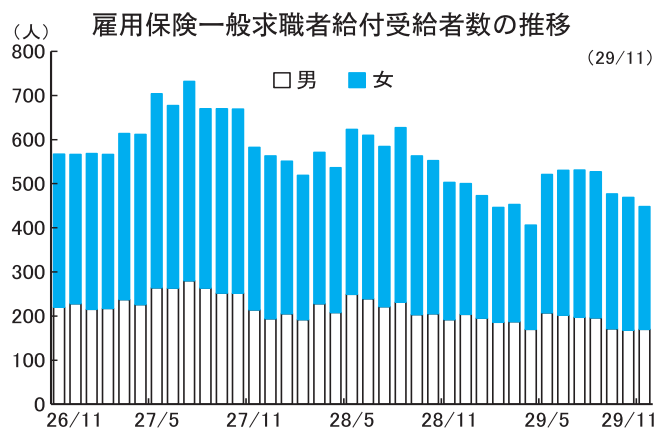
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

## 雇用の状況



11月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.74倍と、前月から0.05ポイント上昇。パートを除く実数は1.80倍で、前月から0.10ポイント上昇している。



11月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は2人増加、女性は23人減少しており、全体では448人と前月から21人減少している。

(資料：ハローワーク飯田)



## 飯田商工会議所 「事業承継に関するアンケート調査」結果

平成30年の中小企業庁長官年頭所感の一節に、

「今後10年の間に、70歳（平均引退年齢）を超える中小企業・小規模事業者の経営者は約245万人となり、うち約半数の127万人（日本企業全体の1/3）が後継者未定です。

現状を放置すると、中小企業・小規模事業者廃業の急増により、2025年頃までの10年間累計で約650万人の雇用、約22兆円のGDPが失われる可能性があります。」

とある。

中小企業・小規模事業者の円滑な事業承継は、事業者のみならず地域経済にとっても重要な課題といえようが、それでは、当地域の経営者は事業引継にどのような意識を持っているのだろうか。

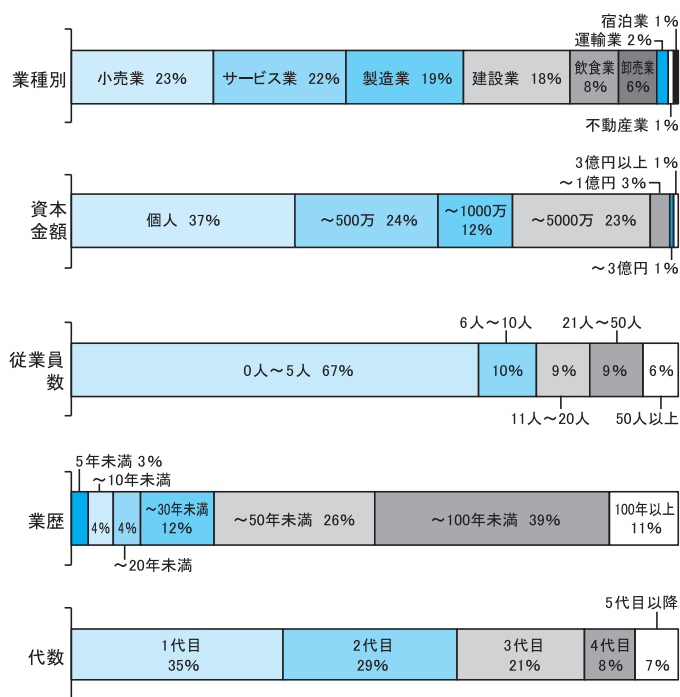
飯田商工会議所では、当地域の地域密着型かつ地元資本の事業所を、（産業）部会別の会員割合に応じて1,500所を対象として「事業承継に関するアンケート調査」を行った。今回はこの調査結果をご紹介します。

### 1、回答者の属性

本調査では、小売業152所、サービス業142所、製造業126所、建設業114所など651の事業所から回答を得ており、個人事業主及び資本金額5千万円以下の事業所が全体の96%を占める。また、常時雇用している従業員数が5人以下の小規模企業者が67%、全回答者の85%が小規模事業者だった。

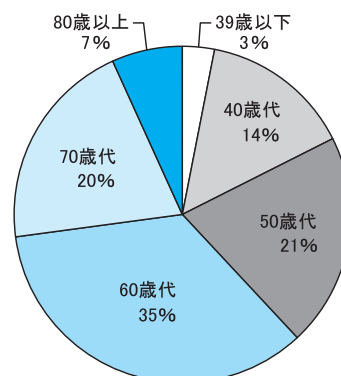
また、50%の事業所が50年以上の業歴を有しており、「あなたは何代目の経営者ですか」との問いに対しては、2代目以降と回答した事業所が65%を占めている。

回答者の多くを占める小規模事業者では、かつて事業承継を経験した事業者も少なくないといえるだろう。



### 2、代表者の年齢

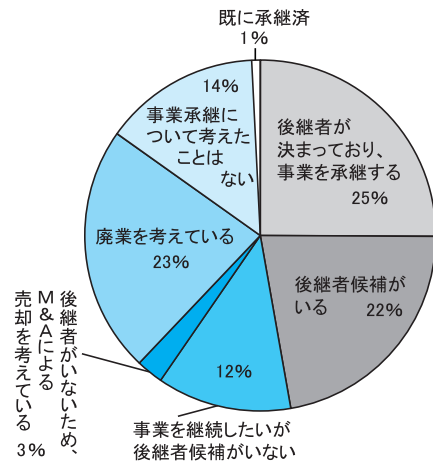
30年以上前は62.6歳だった小規模事業者の経営者の平均引退年齢は、このところ約10年は70歳を超えている（2013中小企業白書）。経営者の平均引退年齢が70歳とされる所以だが、本調査では、経営者が今後10年以内に平均引退年齢を超える事業所が全体の62%を占めている。



### 3、事業継続に関する今後の意向

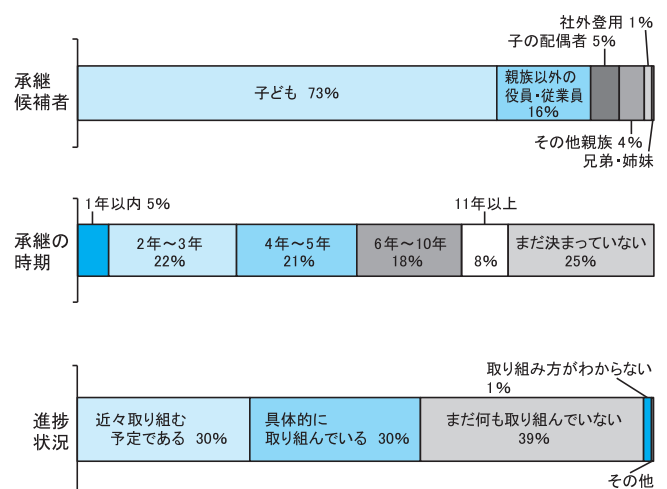
事業継続の意向を尋ねたところ、「事業承継について考えたことはない」とする回答は14%に止まっており、本調査においては、今後の事業継続に何らかの意向を持っているとの回答が多い。

この内、「既に承継済」「後継者が決まっており、事業を承継する」「後継者候補がいる」といった回答に加え、「事業を継続したいが後継者候補がない」「後継者がいないため、M&Aによる売却を考えている」との回答を含め、事業の存続を指向する回答が63%、一方、「廃業を考える」とする回答は23%だった。



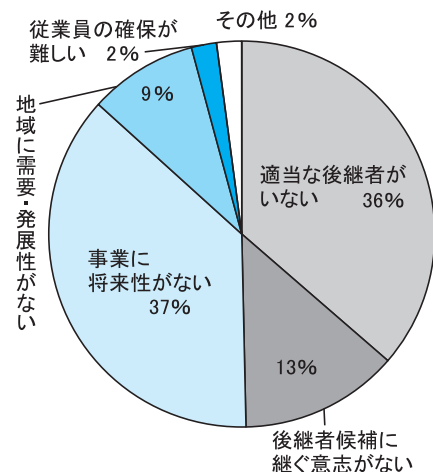
### 4、事業承継の意向

問3で「後継者が決まっており、その後継者に事業を承継する」「後継者は決まっていないが後継者候補がいる」と回答した経営者に後継者、後継候補者を聞いたところ、その大半は子供や親族への承継を考えており、親族以外の役員や従業員、社外登用といった第三者への事業承継を考えている回答は16%だった。承継の時期については、「まだ決まっていない」とする回答が25%あった。また、本調査においては、事業承継に「具体的に取り組んでいる」「近々取り組む予定」とする回答が60%を占めていた。



### 5、事業の売却、廃業を考える理由

問3で「後継者がいないため、M&Aによる売却を考えている」「廃業を考えている」とした回答者に、その理由として最も該当するものを聞いたところ、「適当な後継者がいない」「後継者候補に継ぐ意志がない」など後継者を確保できていないことを理由に挙げたものが49%と半数近くを占め、「事業に将来性がない」「地域に需要・発展性がない」「従業員の確保が難しい」といった、いわば事業の外部要因を主要な原因に挙げた回答者とほぼ拮抗している。グラフにはないが、「事業に将来性がない」がないとの回答者を業種別に見ると、小売業が最も多い。



結びに代えて 本調査の性質上、今後の事業の継続に何らかの見込みを持っている回答者が多かったのではないかとも思われるが、後継者、後継候補者がいる回答者にあっても39%が具体的な取組を行っていない。また、後継者を確保できないために廃業を考える回答者の中にも、後継者があれば事業の存続を考える回答者が一定程度ある可能性がある。こうした回答者には事業継続上の明確な課題があると思われ、商工会議所、金融機関などを通じて専門家とも連携した助言が必要とされているように思われる。

(飯田信用金庫 地域サポート部 中村 達)

# 主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数					
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%
平成24年	519	△ 6.8	328,149	1.6	186,582	△ 0.2	116,485	△ 1.8
25	737	42.0	325,892	△ 0.7	190,248	2.0	113,743	△ 2.4
26	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8
29	657	3.6	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1
平成28.10	51	21.4	28,049	2.5	18,676	5.5	10,272	△ 5.2
11	50	△ 13.8	25,575	△ 2.4	17,622	0.3	9,285	△ 6.7
12	50	6.4	28,239	1.9	18,090	6.3	8,605	△ 3.2
平成29.1	56	51.4	26,478	4.3	17,070	4.2	8,568	△ 2.1
2	42	△ 2.3	22,454	△ 1.9	16,616	10.0	8,629	0.1
3	69	35.3	29,945	△ 1.2	19,682	3.9	10,190	△ 2.5
4	32	△ 13.5	24,732	△ 1.9	17,300	15.6	9,870	△ 0.9
5	52	15.6	28,602	1.2	18,241	7.7	10,568	2.0
6	57	△ 10.9	23,964	6.1	15,883	6.9	9,907	0.1
7	53	△ 8.6	26,791	1.0	18,332	4.1	9,876	△ 1.0
8	69	△ 1.4	36,781	1.8	22,583	1.8	10,346	0.7
9	84	7.7	27,166	0.7	18,546	6.5	9,448	0.7
10	63	23.5	26,902	△ 4.1	18,323	△ 1.9	10,081	△ 1.9
11	80	60.0	25,790	0.8	18,215	3.4	9,454	1.8
12	—	—	28,270	0.1	17,973	△ 0.6	8,761	1.8
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社					

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本登録事務所管内)				有効求人倍率	
	新車		中古車		長野県	飯田管内
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値(但、年平均は実数)	
	台	%	台	%	倍	倍
平成24年	32,028	28.4	7,390	5.8	0.81	—
25	30,532	△ 4.7	7,660	3.7	0.87	—
26	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	—	—
平成28.10	2,172	△ 6.4	634	△ 6.4	1.49	1.35
11	2,074	△ 6.8	538	△ 7.2	1.51	1.40
12	2,082	△ 9.6	558	△ 10.9	1.57	1.53
平成29.1	2,012	△ 8.5	387	△ 11.2	1.49	1.80
2	2,441	4.6	542	△ 5.4	1.51	1.61
3	4,018	1.3	884	△ 4.1	1.48	1.64
4	1,878	△ 5.7	717	2.4	1.52	1.57
5	1,928	△ 8.4	563	△ 3.9	1.53	1.62
6	2,524	1.6	669	△ 13.1	1.57	1.54
7	2,179	4.8	630	10.9	1.63	1.55
8	1,708	0.6	560	1.6	1.62	1.50
9	2,639	2.9	608	1.8	1.68	1.49
10	1,940	△ 10.7	594	△ 6.3	1.69	1.50
11	2,083	0.4	527	△ 2.0	1.72	—
12	1,999	△ 4.0	593	6.3	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野県労働局・ハローワーク飯田	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成24年	65,692	86,556,524	138	17	1,913	△ 10.3
25	60,405	81,013,729	113	8	2,018	5.5
26	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
平成28.10	3,779	3,762,544	7	1	147	△ 13.0
11	3,720	3,727,391	9	0	166	16.1
12	3,973	4,701,810	5	1	206	△ 12.0
平成29.1	3,950	5,080,674	6	2	116	3.6
2	3,713	5,233,036	4	1	159	△ 1.2
3	4,109	5,024,211	8	2	266	△ 4.0
4	3,188	3,500,980	10	3	127	△ 3.8
5	4,310	5,306,503	9	0	122	△ 11.6
6	3,757	5,119,941	9	0	160	1.3
7	3,702	4,130,157	7	0	148	△ 18.7
8	3,658	4,763,709	5	0	167	12.1
9	3,123	4,551,456	6	1	179	1.7
10	4,055	4,483,553	7	1	142	△ 3.4
11	3,500	4,344,046	4	0	142	△ 14.5
12	3,536	4,547,597	6	0	186	△ 9.7
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成24年	2,933,104	0.5	1,913,719	3.4	376,518	1.2	1,010,571	6.3
25	2,970,606	1.3	1,939,863	1.4	417,360	10.8	1,070,386	5.9
26	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4
平成28.10	247,170	△ 4.1	172,088	0.3	37,037	△ 26.3	97,816	△ 7.6
11	242,056	0.3	180,920	2.4	32,774	△ 5.8	94,113	△ 2.5
12	228,660	1.5	155,405	5.0	24,577	△ 11.1	77,284	△ 2.2
平成29.1	205,978	△ 0.5	130,174	3.2	27,023	△ 11.3	68,660	△ 3.7
2	191,670	△ 2.3	123,792	1.2	25,369	△ 15.0	64,582	△ 7.3
3	235,070	△ 0.6	149,971	2.2	27,553	△ 8.3	80,561	△ 1.5
4	222,552	1.3	145,101	4.7	35,626	△ 8.0	83,199	△ 1.1
5	239,594	2.5	156,788	4.8	45,911	32.4	95,068	7.0
6	225,614	2.4	151,622	4.4	20,961	7.7	75,668	2.0
7	238,975	0.7	161,110	3.4	28,150	△ 2.7	86,946	△ 0.6
8	257,394	0.0	173,967	3.2	40,285	△ 1.7	114,513	2.2
9	232,110	1.2	163,879	3.6	30,041	5.8	88,346	5.4
10	238,349	△ 3.6	169,371	△ 1.6	29,164	△ 21.3	89,392	△ 8.6
11	244,783	1.1	183,681	1.5	33,614	2.6	95,565	1.5
12	227,227	△ 0.6	155,629	0.1	24,546	△ 0.1	76,161	△ 1.5
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							